

「原水爆禁止2014年世界大会」にご参加の皆様をはじめ、長年にわたって核兵器のない平和で公正な世界の実現に向けてご尽力されている皆様の取組に対し、心より敬意を表します。

世界人類が「核兵器のない世界」の実現を目指し、安心して平和に暮らすことができる世の中を願っているにもかかわらず、世界各地では紛争やテロが続き尊い命が奪われるなど、今もなお世界恒久平和は実現していません。

三浦市では、昭和29年の太平洋ビキニ環礁における水爆実験により三崎港から出漁していたマグロ船が被災し、多くの犠牲者が出るとともに、被災したマグロが陸と海に処分され、マグロ船主と市場経済は大混乱になったという悲惨な体験をしており、今年はこの「ビキニ事件」から60年の節目の年にあたります。

そのような歴史的体験をふまえ、本市では平成3年に非核三原則の完全なる遵守を求め、あらゆる国の核兵器の廃絶と軍縮を願う「核兵器廃絶平和都市宣言」を行い、翌年には「折鶴」をモチーフとした平和祈念モニュメントを建立しました。また、「平和首長会議」へ加入し、市民と共に戦争がない平和で安心して暮らせる世界が訪れることを強く願っております。

核兵器全面禁止・全面廃絶を求め、真の恒久平和を実現することは、世界で唯一の被爆国である日本の、そして人類普遍の願いであり、同時に私たちの責務でもあります。

平和の尊さをあらためて心に誓い、「核兵器のない世界」の実現をめざした本大会の平和を祈る取組が世界の人々の心に届き、世界平和の礎となりますよう祈念しメッセージといたします。

平成26年8月

三浦市長 吉田英男